

# ネブラスカ大学オマハ校 夏季短期留学ガイド(参考)



2016 Badlands  
National Park

# 1 募集

4月に行われる海外留学フェアで説明・募集案内をします。

2018年4月19日(木) 浜松キャンパス 海外留学フェア

2018年4月2日(木) 静岡キャンパス 海外留学フェア

申込締切:5月11日(木)

## 2 プログラムの概要

### ①期間、経費、募集人数

8月の3週間。2018年の場合は8月7日(火)～8月29日(水)  
プログラム費(授業料、滞在費、食費(一部は自己負担))、  
その他航空運賃等旅行代金で合計56万円程かかります。  
(為替レートにより変動します)他、通学費などがかかります。  
募集人数は12人。最少実施人数10人。(2017年は10人参加)

### ②内容

英語授業(午前中)  
ネブラスカ州～サウスダコタ州横断ツアー(1週間)  
オマハ市内観光(動物園、ダウンタウン、博物館など)  
オマハ市長訪問、さよならパーティー など

### ③単位取得について

静岡大学の単位が取得できます。

「英語海外研修A」(全学教育科目)2単位取得可

\*単位の必要ない学生も参加できますが、定員を超えた場合には  
「英語海外研修A」の単位取得希望者が優先されます。

### ④留学前

参加申込者を対象に、3回オリエンテーションを開催します。  
第1回目は5/24(木)を予定しています。  
7月19日には、3大学派遣留学生合同で結団式を行います。



Art and Science Building  
International Office があるところ  
ここで授業があった



Welcome week  
Fall Semesterが始まる時キャンパスは人であふれる

### 3 スケジュール

#### ①カレンダー(2018年)

## Shizuoka Summer Tour 2018 Calendar

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
5	6	7	8	9	10	11
		<b>Arrive Omaha</b> 7:02 pm (DL3382)  <b>Host family pick-up @ pm Eppley Airfield</b>	9-11 am <b>Welcome &amp; class</b> (ASH241/Allwine 313) 11 am-12 pm <b>UNO tour</b> 12-1:30 pm <b>Welcome Luncheon</b> (Dodge Rm) 1:00 <b>MavCard</b> 1:30-2:30 pm <b>Tour Orientation</b> (Council Rm)	9 am-12 pm <b>Class</b> (Allwine 313)	8:00 am <b>Depart Omaha for Western Nebraska/ South Dakota Trip</b> <b>* Meet east side of ASH (Old Kaiser Hall bus stop) by 7:30 am</b> <b>Nebraska Capital The Archway</b> <b>Stay @ North Platte, NE</b>	<b>Lake McConaughy Chimney Rock Scotts Bluff National Monument</b> <b>* Students buy your own lunch &amp; supper.</b> <b>Stay @ Fort Robinson State Park, NE</b>
12	13	14	15	16	17	18
<b>Activities @ Fort Robinson</b> (Jeep rides) Chuck wagon buffalo stew dinner <b>Stay @ Fort Robinson State Park, NE</b>	<b>Custer State Park Mount Rushmore Downtown Rapid City</b> <b>Stay @ Rapid City, SD</b>	<b>Wall Badlands</b> Lunch @ <b>Chamberlain</b> Dinner @ <b>Niobrara</b> <b>Stay @ Niobrara State Park, NE</b>	<b>Activities @ Niobrara</b> (horseback riding) <b>Stay @ Niobrara State Park, NE</b>	<b>Clear Creek Organic Farms</b> <b>Clarkson Historical Museum</b> <b>Return to Omaha</b> 6:00 pm <b>Host family pickup (Old Kaiser Hall bus stop)</b>	9 am SU Leader meeting w Jane Meza, Bruce Grogan, & Patrick McNamara (ASH241N) 9 am-12 pm <b>Class</b> (Allwine 313)	9 am – 3 pm <b>Zoo trip</b> <b>* Meet east side of ASH (Old Kaiser Hall bus stop) at 8:50 pm. We will come back at 3.</b>
19	20	21	22	23	24	25
<b>Free day with host family</b>	<b>UNO Fall Semester Starts</b> 9 am-12 pm <b>Class</b> (MBSC Umoho Room)	9 am-12 pm <b>Class</b> (MBSC Umoho Room)	9 am-12 pm <b>Class</b> (MBSC Umoho Room) 2:00 Visit <b>Mayor Stothert</b> <b>* Meet east side of ASH (Old Kaiser Hall bus stop) at 1:20 pm</b> 3:00 <b>Durham Museum Ted &amp; Wally's Ice Cream</b> <b>(Back to UNO at 4:30)</b>	8 am SU Leader meeting w BJ Reed (EAB 202) 9 am-12 pm <b>Class</b> (MBSC Umoho Room) 1-6 pm <b>Sayonara Party preparation (Meet @ MBSC Dodge side entrance at 1:00)</b> 6-8 pm <b>Sayonara Party</b> (St. Margaret Mary Church, 6116 Dodge St)	9 -10 am <b>Class</b> 10 am -12 pm <b>Speech Presentation (CEC230/231)</b> <b>* Host families &amp; friends are invited!</b>	<b>Free day with host family</b>
26	27	28	29	30	31	1
<b>Depart from Eppley Airfield @ 8:45 am</b> (DL5115) <b>* Please take students to Eppley Airfield by 7:00 am</b>						

MBSC: Milo Bail Student Center, CEC: Community Engagement Center, SU: Shizuoka University

## ②1週目（UNOに到着して、すぐにホームステイ）

- ・英語研修(午前)
- ・ウェルカムランチ
- ・ウェルカムパーティ
- ・ネブラスカ州～サウスダコタ州横断ツアー

## ③2週目（旅行中はそれぞれの場所での宿泊施設）

- ・ネブラスカ州～サウスダコタ州横断ツアー
- ・動物園散策

## ④3週目（ホームステイ）

- ・英語研修(午前)
- ・オマハ市長訪問
- ・ファイナルスピーチ
- ・さよならパーティ



## 4 英語研修

第1週と第3週に、毎日9時から12時まで行われます。2016年は10人で1つのクラスでした。

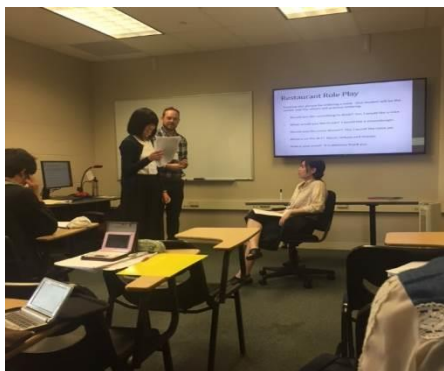
授業の前半は各テーマ(歴史・芸術・文化・日常生活等)に沿った文章を読み、ディスカッションをペアになって行います。ロールプレイや物語の原稿を考え、後からクラス内で発表することもあります。講師のHANA先生からの働きかけで、活発な話し合いになり、みなさん終始楽しんで学習していた様子でした。午後の訪問・散策先や旅行に関するトピックスも多く、必要な情報を得るために興味を持って授業に参加していました。後半はカンバセーションパートナーと3～4のグループに別れ、会話やゲームを通しスピーキングスキル向上に努めました。



### \*カンバセーションパートナーとは？

UNOのレギュラーの学生や元静大留学生在がこの夏季短期留学全体を通じて授業での会話の相手になったり、フリータイムやアクティビティの際に同行して様々なヘルプをしてくれます。中には静大に留学が決まっている学生がいて、ネブラスカ州～サウスダコタ州への横断旅行にも同行し、戻る頃にはかなり打ち解けた良い仲間になっています。

カンバセーションパートナーとの会話の時間には、毎回UNOのレギュラーの学生がボランティアで会話の相手をするために、多い時は10人ほどの学生が参加してくれました。様々なテーマでの会話を小グループに分けて行うことで、実際に英語を話すチャンスが多く得られます。



## 5 行事(主要なもの)

### ①動物園

全米No1の規模を誇るオマハ市内にある動物園。

カンバセーションパートナーが小グループに付き、半日かけて動物園を散策。



## ②Durham Museum& Old Market

ダウNTOWNにある博物館と古い町並みをそのまま残してショッピングエリアになっているところに訪問。博物館ではオマハの歴史を紹介するビデオ上映や古い機関車などの展示がある。博物館からOld Marketまでは徒歩ですぐ。ここでは各自ショッピングを楽しむことができる。レストランがたくさんあるので食事に訪れるのもいいかもしれない。

※2016年は日程の都合上、全員でのOld Market散策はありませんでしたが、各自ホストファミリーと散策していました。



Durham Museum



## ③オマハ市長訪問

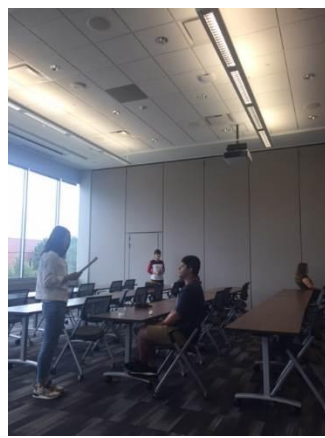
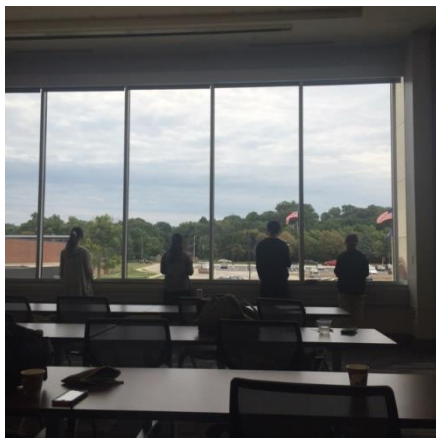
オマハ市は静岡市と姉妹都市関係にあるため、静岡大学長からの親書を持って全員でオマハ市長を訪問する。

静岡大学の学生がオマハに来ての感想等についてスピーチをしました。事前に武先生に相談し、内容についてのアドバイスを受けて練習等していただきました。また、その日の授業で「市長に何か質問してくること」という宿題が出ており、みなさん積極的に発言していました。服装はフォーマルなもので。 ※2016年は静岡県内の教職員と合同での訪問になりました。



#### ④Speech Presentation

授業の最終日に、全員が4-5分のスピーチを行います。テーマは“サマーツアーを振り返って”。HANA先生やカンバセーションパートナーとの練習の成果を披露する場です。カンバセーションパートナー以外にも、武先生の日本語クラスを取っている学生の方々も駆けつけてくれました。全員直前まで練習し、緊張していた様子でしたが、いざスピーチが始まると笑いあり、涙ありのすばらしい出来栄でした。ホストファミリーやカンバセーションパートナー、大学のスタッフが見守る中、UNOから修了証書が手渡され、全員達成感に満ちた様子でした。



## 6 Party! Party! Party!

### ① Welcome Luncheon

Student CenterのDodge roomで行われた。元学長のウェバー博士や、姉妹都市協会のラリーさん、名誉領事のベレンジャーさん、国際交流オフィスのスタッフ、英語教員、カンバセーションパートナーなどが参加。静大から留学しているILUNOの学生、交換留学生も参加していた。(2011年)



2011年写真





## ②Welcome Party

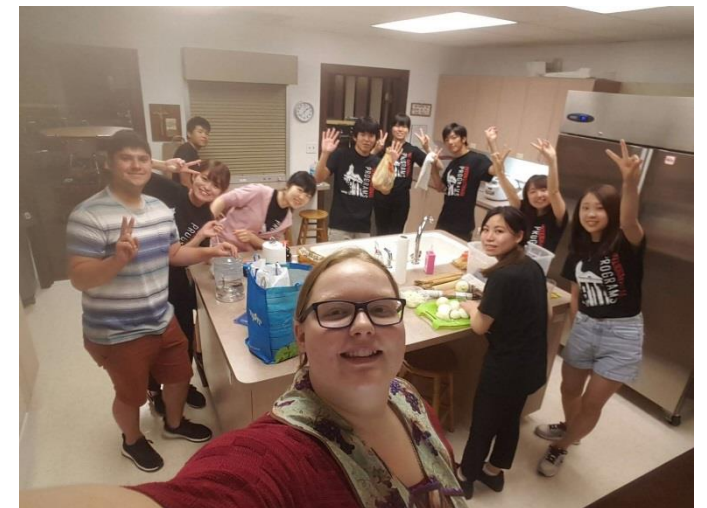
St. Margaret Mary Churchにおいて、ホストファミリーと夕食を兼ねて行われました。

2016年は1日遅れでアメリカに上陸し、やっとの思いでオマハに到着。直後に参加したこのウェルカムパーティーでILUNOスタッフやホストファミリー、カンバセーションパートナーに温かく迎えていただき、皆ほっとした様子でした。



### ③Sayonara Party

静大参加者が、お世話になったホストファミリー、UNOスタッフ、カンパセーションパートナーに対して感謝の気持ちを表すパーティ。食材は現地で調達できるものもありますが、留学前によく参加者同士で話し合っ、日本から持って行くものなどを相談すると良いです。2016年は、静大参加者そうめん、手巻き寿司、味噌汁を用意しました。出し物は書道で、テーブルに学生が付いて毛筆での書き方を教えたり、名前を書いたりしていました。それぞれの説明をする担当をあらかじめ決めておきましょう。



## 7 ネブラスカ州～サウスダコタ州横断旅行

UNOの武先生、10月から静大に来る交換留学生、カンパセーションパートナーと静大生で大型バスを貸しきり、1週間の旅行に出発。(2016年)オマハから西部開拓時代のtrailを通り、さまざまな名所・観光スポットに立ち寄ります。

①1日目 Omaha --- Kawasaki Motors Manufacturing Corp.,USA(KMM) in Lincoln --- Grand Island --- Great Platte River Road Archway in Kearney --- North Platte

朝Omaha出発。第一目的地の川崎重工のプラントへ。工場内を見学させていただいた後、会社説明と質疑応答。実際に「海外で働く日本人」である対応者に参加者から様々な質問がされました。昼食はGrand Islandの“Rafa’s TACOS”にて。Archwayで開拓の歴史に触れた後はNorth Platteへ。夕食の中華の後、近所のバッファロー・ビルのお店(土産物屋)を見学し、ホテルへチェックイン。元気な人はプールで泳いでいました。



Great Platte River Road Archway:西部開拓の歴史を学べるミュージアム

②2日目 North Platte --- Grocery store in Ogallala --- Lake McConaughy --- Chimney Rock – Scotts Bluff Monument – Ft. Robinson State Park

名所観光がたっぷり詰まった1日。まず翌日以降の朝食食材を購入します。果物、卵、ベーコンなどをたくさん。そのほか「アメリカならではの」のシリアルを買えます(ここの支払いは参加費に含まれているので支払いはUNOでまとめて行ってください)。オマハから持参したクーラーボックスに保存します(果物は悪くならないようなるべく涼しいところに！)。買出しの後はLake McConaughy、Chimney Rock、Scotts Bluffで歴史と大自然を堪能します。この日の滞在先であるFt. Robinsonは元々軍隊の駐在所であった場所(1874-1948)で宿泊施設として利用できます。



Lake McConaughy: 平原の中に現われる人工湖。  
人気のリゾートスポットらしい。



Chimney Rock :西部を目指す開拓者たちにとって  
この岩(山?)が「平地はここまで」の印だった、とか。



Scotts Bluff national Monument : 高い岩壁の上から見下ろす広大な景色に圧倒されます。

Ft. Robinson : ここで2泊。宿泊施設と様々なアウトドアアクティビティが楽しめます。



宿泊施設。クラシックな佇まいと内装が素敵です。  
静大の学生が毎年お世話になる場所です。  
きれいに使いましょう！  
備品を大事に使い、間違えて持って帰らないようにしてください。  
また、羽目を外し、大騒ぎしないようお願いします。



キッチン・リビングルームには食器、調理器具がある程度そろっています。ベッドはダブルベッドと2段ベッドがあるので、どこで寝るか相談して決めましょう。場合によってはダブルベッドに2名で寝る事になります。バスルームのお湯量にリミットがあるので、夜/朝とグループ分けするなど工夫が必要です。

### ③3日目 Ft. Robinson State Park満喫



Ft. Robinson 宿泊の間は分担して朝食を作ります。  
マフィン、スクランブルエッグ、かりかりベーコン、ソーセージ、  
山盛りフルーツなどなど。みんなで作る朝食はおいしい！



Jeep Ride! グループに分かれてFt. Robinsonの周辺をドライブ。素  
晴らしい大自然の中をちょっとスリリングなライドが楽しめます。



カイヤック チュービング(結構スリルあります！)



長い車(?)に乗ってバッファローシチューを食べに。

④4日目 South Dakotaへ。Custer State Park – Wild Life Loop – Mt. Rushmore – Keystone – Rapid City



バッファローや、シカや、プレイリードッグや、いろいろな野生動物を見ながらドライブ。

## Mt. Rushmore



このアイスクリームは絶品。是非食べてみてください！

本日のメイン。Mt. Rushmore。4人の名前、言えるかな？  
(左からGeorge Washington, Thomas Jefferson, Theodore Roosevelt, Abraham Lincoln)

⑤5日目 Walls Drugs Store - Badlands National Park – long long long ...drive - Niobrara State Park



Badlands : 小さなグランドキャニオンみたいなもの？ 澄んだ空気の中、見渡す限りの荒涼とした大地で思わずジャンプ！  
この後はひたすらドライブ。夕方、Niobrara State Parkに到着。



⑥6日目 Niobrara State Park 満喫

Niobraraは大自然に囲まれた環境で大変癒されます。

素晴らしい自然に囲まれた宿泊施設・バンガローに滞在。ここで乗馬やハイキング、プールなどが楽しめます。





乗馬したり、ハイキングしたり、1日自然の中で思いっきり遊ぼう！

⑦7日目 Niobrara State Park – Clear Creek Organic Farms in Spalding–Clarkson Historical Museum- Omaha



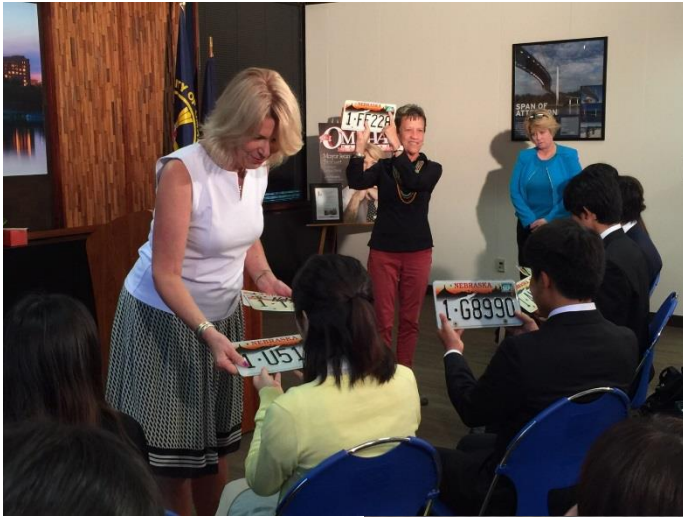
Clear Creek Organic Farmsは代々続く広大な農場です。ここで作られるチーズやアイスクリームを試食させていただきました。



Clarksonはチェコからの移民の歴史を学べる町。歴史博物館を見学後オマハへ。

Welcome Back to Omaha!!  
UNOにホストファミリーが迎えに来てくれる。この日から再び1週間のホームステイ。

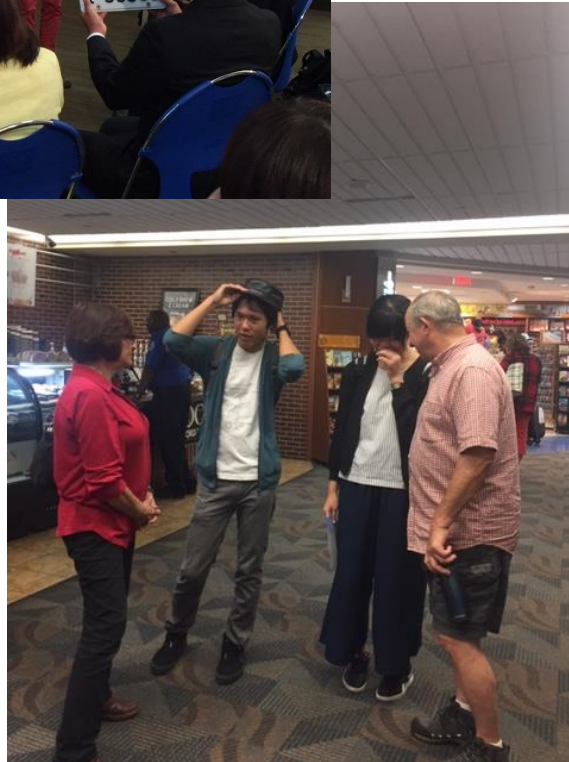
## 8 ARIGATO !



オマハ市長



武先生 (右1)とLoriさん(右2)と学長(左)  
大変お世話になりました！



Host family !



HANNA先生



....and  
Conversation partners !!

## 留学前準備

### 〔貴重品〕

- ・パスポート
- ・クレジットカード(できるだけクレジットカードを使用しましょう)またはキャッシュパスポート等
- ・現金 \* 多額の現金は持ち歩かない方が安全。

### 〔衣類・装身具〕

・服: 現地でも購入可能だが、持っていけるものは持っていくましょう。(サイズが合うものを探すのが大変かも)

ジャケット、Tシャツ(半そでと長袖を両方)、パーカー、カーディガン/トレーナー/セーター、ジーンズ、フォーマルな服(ビジネスカジュアル程度)、下着

\* ネブラスカは昼暑くて朝夕涼しい。紫外線もかなり強い。機内やツアー中の防寒対策も忘れずに!

- ・靴(サンダル、スリッパ、スニーカー、フォーマル時用)
- ・帽子、サングラス、水着
- ・かばん: リュックか肩掛けバック(普段使い用)、小さめバッグ(パーティー用)など、サウスダコタ用の旅行バック(1週間分の荷物が入る大きさ)

サウスダコタ旅行の際、大きいスーツケースは荷物の出し入れに時間がかかり、宿泊先でも邪魔になります。

小さめのバッグに1週間分の荷物だけを持って行くようにして下さい。

### 〔健康・衛生用品〕

- ・洗面用具(シャンプー、リンス、石けん、歯ブラシ、ボディタオルなど)
- ・常備薬、リップクリーム、日焼け止め、必要な衛生・美容用品(化粧品、眼鏡・コンタクト用品、つめ切りetc.)
- ・洗剤、洗濯ネット

### 〔語学研修用学用品〕

- ・筆記用具、(スマホにwifiなしで使える辞書を入れておくと便利)、ノート

### 〔その他〕

- ・時計、目覚まし時計、カメラ、傘などの雨具、ソーイングセット
- ・お土産(ホストファミリーに各自用意。大学のスタッフには引率が用意する。)

### 〔人によって〕

- ・日本茶のティーバッグ、日本食(インスタントみそ汁・のりの佃に・インスタントご飯、調味料(塩・砂糖・しょうゆetc.)・調理器具
- ・浴衣・マスク、ウエットティッシュ・耳かき
- ・ドライヤー、携帯、パソコン、USB
- ・洗濯バサミ・洗濯ロープ・洗濯ハンガー
- ・家族の写真(ホストファミリーなどに自分の家族を紹介するため)

### その他

- ・代表で1名「麦茶のパック」を日本から持って行き、武先生に渡してください。サウスダコタ旅行中に使用します。
- ・旅行中、乗馬をするので、足を包む靴(スニーカー等)が必要です。  
サンダルでは危険です。また、短パンでも乗れませんので、長い(?)パンツ/ジーンズを用意してください。
- ・旅行中は洗濯はできないと考えた方がいいです。1週間洗濯しなくても大丈夫な着替えを持って行ってください。
- ・横断旅行では西へ向かうに従って標高が高くなります。そのため朝晩はかなり冷えます。多分寒いと思いますので、必ず風を通さないジャケットを持参してください。

## 渡航情報

### ①荷物について

**【預け入れ荷物】**利用する航空会社によりますが、1～2個まで荷物を預けることができます。重量が重すぎると追加料金が発生しますので、詳細は旅行会社から説明を聞いてください。

**【機内持ち込み用バッグ】**あまり大きくないバッグを2つまで

- ・貴重品、常備薬など、必要な医薬品・衛生用品・化粧品etc.
- ・歯磨き、眼鏡・コンタクト用品、羽織るもの、パソコン(持参する場合)・カメラなどの壊れ物
- ・その他、機内で使うものはこのバッグに！

**【機内に持ち込めないもの】**

- ・ハサミ・ナイフ類(ソーイングセットや化粧用の小さいハサミやつめ切り、剃刀、ツメやすりも不可)→預け入れ用のスーツケースに入れる
- ・100ml以上の液体物(ジェル・エアゾールを含む)→機内に持ち込む場合:歯磨き粉・化粧水・クリーム・目薬・コンタクト保存液等はすべて100ml以下の容器に入れ、ジッパーのついた縦20cm×横20cm以下、1リットル以下の透明ビニール袋にまとめてすぐ取り出せるようにしておく

### ②電源・ソケットについて

#### 【電気製品(アメリカ)】

・アメリカの電圧はAC117V～120V。ラップトップやノートブックパソコンはほとんど問題なくそのまま使える(念のため、説明書等で確認のこと)。パソコンやビデオのバッテリーチャージャーもそのまま使ってOK。コンセントやプラグの形状も日本の機器はアダプター無しで使用できる。ただし、**ヘアドライヤー、コンタクトレソンの煮沸器、ヘアアイロンなどの発熱関連の器具は、異常加熱の原因になる可能性があり非常に危険。変圧器を利用するか、海外電圧対応の電化製品を利用すること。**

・ホテルによってはバスルームに日本と同じタイプのソケット、100Vの電源があるホテルもあるが、シェーバーなどの**軽電流用**なので、**絶対にドライヤーなど上記発熱関連の器具は使用しないこと！**



## 留学中の情報

### ①宿泊施設

UNOに到着してすぐにホームステイとなります。

2週目にある旅行中はそれぞれの場所での宿泊施設となります。

### ②食事

UNO滞在中のランチは自己負担です。朝食と夕食については、ホストファミリーが用意します。

ネブラスカ州横断オールドウェスト探検ツアーでは、数回の食事は自己負担となります。

途中、農場に立ち寄ります。お世話になるので、日本から持っていけるもの(日本の洋風のおかしとか?)で、皆さんで何か一つお礼をされるといいと思います。

# 2017年参加者からのアドバイス

- 食事は割と口に合うものが多いので日本からはあまり持って行かなくていいと思います。
- モバイルバッテリーなどを持っていくと便利です。外でのアクティビティもあるので友達と行く場合は何かしら持っていくとさらに楽しめます。

英語に不安があっても全然大丈夫です。TOEIC5\*\*点の僕は2、3日で環境に慣れました。また現地の人々はとてもfriendlyで話しやすいです。

- 空気が乾燥しているので自分に合うリップクリームを探しておくといいかもしれません
- 携帯電話(スマホ)の海外での設定を確認しておくべきです
- 朝、夜、室内は結構寒いこと。
- バスの中も冷房が効いているので、羽織れるものがあった方がよいです。

- 去年は、比較的涼しかったので、薄手の長袖の上着が役立ちました。
- 横断旅行の際は、虫が多かったので、虫除けや虫刺されの薬は念のために持っていくと、安心かと思います。
- 横断旅行の期間中は、観光場所や宿泊場所によっては、通信環境が整っていない場所もあるので、不安な方は、ポケットwifiなどを準備することも、選択肢の一つとして考えられるかと思います。
- ホストファミリーの方はもちろん良い方ばかりですが、家族構成や生活習慣、また学生との関わり方はそれぞれ異なるので、あまり比較せずに、お世話になるホストファミリーと良い関係を築くことが大切かと思います。

5日間くらいアメリカ内旅行すると思いますが、その間は洗濯できないと思うので、多めに着替えを持って行くと良いと思います。

さよならパーティーについて

### 〈出し物〉折り紙

具体的には、折り紙を折って、食事用のテーブルを飾ったり、アメリカ人の学生さんなどに、折り紙の折り方を教えてあげたり、といったことが中心でした。

またテーブルを飾った折り紙は、帰り際に、来て頂いた方に、記念に持って帰ってもらいました。

出発前は、大きな紙を用意して折り紙を折り、かぶれるサイズの兜や、大きなボールを作る予定でしたが、なかなかそこまでは準備が出来ませんでした。

折り紙のお土産は喜んで頂けたと思います。

### 〈日本食メニュー〉

ちらし寿司（魚介なし）、お好み焼き、茶そば、お味噌汁、肉じゃが、春雨サラダ、抹茶アイス

出発前は、お味噌汁、肉じゃが、焼き鳥を作る予定でしたが、改めて相談した結果、教会を借りて調理をするため、においがつくといけないだろうということで、焼き鳥は作りませんでした。

その代わりに、主食、おかず、デザートのように、様々な種類の料理を用意した方が喜んでもらえるだろうということで、品数を増やしました。

ベジタリアンの方も食べられるメニューを考えたり、また似たような食材を使うメニューは外したりするなどして、様々な日本の家庭料理を楽しんでもらいました。

どのメニューも美味しく召し上がって頂けたように思います。

アメリカでは武先生が、メニューについて、具体的なアドバイスをくださり、また調理の際もサポートして下さいだったので、比較的スムーズに調理出来たように思います。

### 持ち物:

- ・サウスダコタでは日中と夜間の寒暖差が激しかったり、外気温が高くてもバスの冷房が効きすぎていることが多いので、服装はある程度融通がきくものを準備すること。
- ・ホストファミリーの方への感謝と自己紹介を書いたメッセージカードを用意しておく、滞在中のコミュニケーションが円滑になる。

### さよならパーティ:

- ・ベジタリアンの方用のメニューは少なくとも二品は用意すること。
- ・アメリカでは子供はコーヒーを飲まないの、デザートに用いるのは避けること。
- ・醤油やみりんなどの調味料類は現地の日本食材店で手に入る。
- ・お好み焼きが非常に好評だった。

### 市長表敬のスピーチ

- ・時間は3分程度
- ・現地ではアメリカの歴史について学ぶはずなので、それについての意見をスピーチに織り込むと良い。
- ・相手への敬意を忘れずに。

### その他

- ・現地でコーディネートをしてくれる武先生とは、今のうちからメールやラインで連絡を取り合って調整しておくこと。
- ・コミュニケーションでは黙りこくらないで、身振り手振りでもとにかく自分の意見を率先して示すこと。また、相手の発言が聞き取れないときに愛想笑いで誤魔化すのは厳に慎み、ちゃんと聞き直すこと。「意思の疎通ができない・なにを考えているのかよくわからない」ような態度は不信を招く。